

[第5回「新たな旅のスタイル」に関する検討委員会]

Fujitsuのワーケーションに関する取組みの紹介

富士通株式会社

富士通Japan株式会社

Work Life Shiftの取組み

2021年12月13日

富士通株式会社

Employee Success本部

Employee Relation統括部

大宮 泰治



わたしたちのパーパスは、
イノベーションによって社会に信頼をもたらし、
世界をより持続可能にしていくことです。

Work Life Shift

リアルとヴァーチャルの双方で常につながっている多様な人材が、
イノベーションを創出し続ける状態をつくる
ニューノーマルな世界において、
「働く」ということだけではなく、「仕事」と「生活」をトータルにシフトし、
Well-Beingを実現する

固定的な
場所や時間にと
らわれない

社員の
高い自律性と
信頼をベース

Work Life Shift

2020年7月発表 FUJITSU

固定的なオフィスに出勤する従来の通勤の概念を変え、多様な人材が高い自律性と相互の信頼に基づき、場所や時間にとらわれず、お客様への提供価値の創造による社会の変革に継続的に取り組むことができる働き方を実現するため、人事制度とオフィス環境整備、組織カルチャー変革の面から、様々な施策を推進しています。



Smart Working

最適な働き方の実現

- ・ コアなしフレックスの適用拡大
- ・ 在宅勤務環境整備の補助金支給
- ・ 単身赴任解消の促進
- ・ 家族事情による遠隔勤務
- ・ 地方創生に向けた自治体との協定締結
- ・ ワークেশンの導入



Borderless Office

オフィスのあり方の見直し

- 業務の目的にあわせ、自由に選択できる
ワーク環境の整備
- ・ Hub Office
 - ・ Satellite Office
 - ・ Shared Office



Culture Change

社内カルチャーの変革

- ・ 1on1meetingの導入
- ・ コミュニケーションツールを全社共通サービスとしてグローバルで提供
- ・ スマートフォン全社員支給

After コロナを見据えながら、 Work Life Shiftはさらに進化

1. Hybrid Workの実践とエクスペリエンス・プレイスへの進化
2. DX企業としての働き方の進化
3. WorkとLifeのシナジー追求

上記を目指し、Afterコロナを見据えた「**Work Life Shift2.0**」を展開

生産性の向上、
リアルとバーチャル、WorkとLifeの相乗効果による新たな価値の創出、
Well-beingの向上のリファレンスモデルとなり、
社会やお客様の課題解決や持続的成長に貢献



Work Life Shift 2.0

Work と Lifeの シナジーの追求

- 柔軟な働き方を活かしてLifeの充実を。生み出される相乗効果により、従業員一人ひとりのWell-being実現へ
- 男性育児参加100%の推進
- **ワーケーション** / 副業の推奨

Smart
Working

Borderless
Office

Hybrid Workの実践 と新しいオフィスの活用

- コラボレーションを生み出す新たなオフィス活用を通じリアルとバーチャルを組み合わせた真のHybrid Workの実践
- オフィスは「Workplace」からイノベーションの源泉となる様々なエクスペリエンスを提供する場「Experience place」に。

Culture
Change

DX企業としての働き方への進化

- スタートアップとのコラボレーションによる「Work Life Shift」における課題解決の推進
- **地方自治体との地域創生に関する連携**

1. Hybrid Workの実践とエクスペリエンス・プレイスへの進化

コラボレーションを生み出す新たなオフィス活用を通じ
リアルとヴァーチャルを組み合わせた真のHybrid Workの推進

オフィスの景色を変える取組み、サテライトオフィスの社外開放

- ・ 社内教育施設を大幅削減、オフィスの執務フロアにて新人教育含め研修やワークショップ・タウンホールミーティングを開催、**オフィスの新たな景色を創造**。（2021年11月実施予定）
- ・ 当社保有のサテライトオフィス「F3rd（エフサード）」の一部を社外に開放。**協創、ネットワーキングの場づくり**を行う。（2021年12月開始予定）

オフィスで最先端テクノロジーを体験

- ・ 2021年7月に入居した「JR川崎タワー」を**実証実験の場**として、生体認証の全面導入や社内ネットワークのSecure Internet Gatewayなどを導入
- ・ イベント連動型マッチングサービス「Buddyup!」と位置情報活用基盤「ロケーションプラットフォームEXBOARD for Office」を掛け合わせ、**オフィスコラボレーションを促進**。（2021年9月から実施）

2. DX企業としての働き方の進化

プロダクティビティ向上に加えクリエイティビティを高める働き方へ
企業や地方自治体とのコラボレーションを通じた課題解決を目指す

スタートアップとのコラボレーションによる「Work Life Shift」課題解決へ

- ・ スタートアップとの協業を進める「富士通アクセラレータ」を活用。
リモートワークにおけるコミュニケーションなどの課題解決に向けた社内実践を開始。
(2021年7月から開始)

地方自治体との地域創生に関する連携

- ・ 地元企業や地域コミュニティと協働し、社内実践・プロボノ活動などを通じた
地域における課題抽出・解決支援の実践。
新たな知見獲得によりDX企業として不可欠なビジネスプロデューススキルを深化、
地域創生や地域経済の活性化に貢献していく。

3. WorkとLifeのシナジーの追求

柔軟な働き方を活かしてLifeの充実を
生み出される相乗効果により、従業員一人ひとりのWell-being実現へ

男性育児参加100%の推進

- ・ 配偶者の産前産後に最大2か月の有給休暇を付与（2021年7月から実施）
- ・ 育児をしながら働く社員を会社として全面的に応援「子育て応援宣言」（2021年下期実施予定）

ワーケーション／副業の推奨

- ・ 心身のリフレッシュ、メリハリある働き方・休み方の実践を通じて、新たな気づきや知見獲得の促進、創造力向上、新たな関係構築を期待

[ワーケーション]

業務出張前後に出張先での滞在延長を認め、交通費は会社負担に。（2021年7月から実施）
地方自治体と「富士通ワーケーションパートナーシップ」を締結、
各地でのワーケーションプランを共同企画。（2021年11月以降展開予定）

[副業の積極展開]

従業員のスキルアップ、経験値を高める場の選択肢として、積極的に副業を推奨。
今後も、ノウハウ・スキルを求める需要側とのマッチングなどを検討。

これまで難しかった長期の観光・帰省で
リフレッシュして、**本来の力を発揮して生産性向上**

普段とは異なる環境(地域)での体験を通じて、
新たな知見・アイデアを獲得し学び・成長の機会として活用

リフレッシュ

プライベート

- 長期の観光・帰省を実現してリフレッシュ

出張先延長滞在

- 出張機会を活用したリフレッシュ
- 出張機会を活用した知見・アイデアの獲得

新たな知見の獲得

地域貢献活動

- ボランティア（プロボノ含む）活動
- 副業により地域産業の活性化

ビジネス創出

- アイディアを生み出せる能力の醸成
- ビジネス創出のためのワークショップや研修

大分県(2021/3/24)

主な取り組み

1. 大分県への移住を伴う遠隔勤務の推進

富士通では2020年7月より推進している「Work Life Shift」の取り組みの一環として、単身赴任の解消、家族事情による遠隔勤務を順次進めています。

今回、大分県の助成などの支援のもと、本人が大分県への移住を希望しかつ要件を満たし所属長が認めた場合において、大分県での遠隔勤務を可能とします。それにあたり、大分県と連携して、サテライトオフィスの設置など、環境整備の取り組みを推進します。

2. ワケーションの活用

大分県の観光業への経済効果、移住希望者の増加、富士通グループ従業員のリフレッシュや地域への活動を通じた新たな知見の獲得のため、短期間の間、テレワークを活用して普段とは異なる場所・地域に滞在して仕事をするワーケーションを支援します。各市町村と連携をしたワーケーションプランのプロモーション、富士通健康保険組合保養所（湯布院荘）を活用した取り組みなどを推進します。

3. 社会貢献活動などによる地域課題の解決

富士通グループ従業員がもつ知識・経験を生かした社会貢献活動（プロボノ活動など）や、副業など多様なキャリア形成支援による、県内産業の活性化への貢献および県が抱える地域課題の解決を推進します。

和歌山県(2021/10/15)

主な取り組み

(1) ワケーション推進による関係人口の創出

1. 新たな知見の獲得に向けたワーケーションの推進

富士通では「Work Life Shift 2.0」のコンセプトの一環として、WorkとLifeのシナジー追求を目的としたワーケーションの活用を更に推進していきます。リフレッシュだけでなく、地域での活動を通じた新たな知見の獲得や、チームでのワーケーション、多様なキャリア形成、また和歌山県への関係人口の創出のため、和歌山県のもつワーケーションのプログラムやノウハウを元に、従業員がニーズに合わせてワーケーションのスタイルを選択できるよう連携していきます。

2. 「サステナブルエコツーリズム」のトライアル実施

和歌山県は、旅行ガイドブック・オンラインプラットフォームで「サステナビリティ部門」に世界で唯一選出されたことを受け、「サステナブルエコツーリズム」の推進によって地域活性化を目指しています。従業員の現地での体験や交流を通じた新たな知見の獲得を目的に、「サステナブルエコツーリズム」をテーマにしたワーケーションプログラムをトライアル実施し、共同で効果測定やプログラムの改善を行っています。

(2) 多様な知見・スキルを活用した地域課題の解決

（富士通グループ従業員の副業による県内企業の支援）
和歌山県内の副業を社内に公開し、富士通グループ従業員がもつ知識・経験を活かし、副業によって課題を抱える県内企業の支援を行うことで、産業の活性化への貢献および県が抱える地域課題の解決を推進します。

(3) 遠隔勤務を活用した転職なき移住による地方創生

（地域連携による遠隔勤務の拡大）
WorkとLifeのシナジーの追及のため、地方活性化に資する活動を目的に和歌山県への移住を希望し、かつ所属長が認めた場合において、和歌山県での遠隔勤務を可能とします。

<自治体からの相談の傾向>

移住や地方創生を最終目標としつつも、
まずはワーケーション関係人口の創出に取り組みたい

**「観光以上・移住未満」をコンセプトとした
ワーケーション特化型の枠組みを新しく制定**

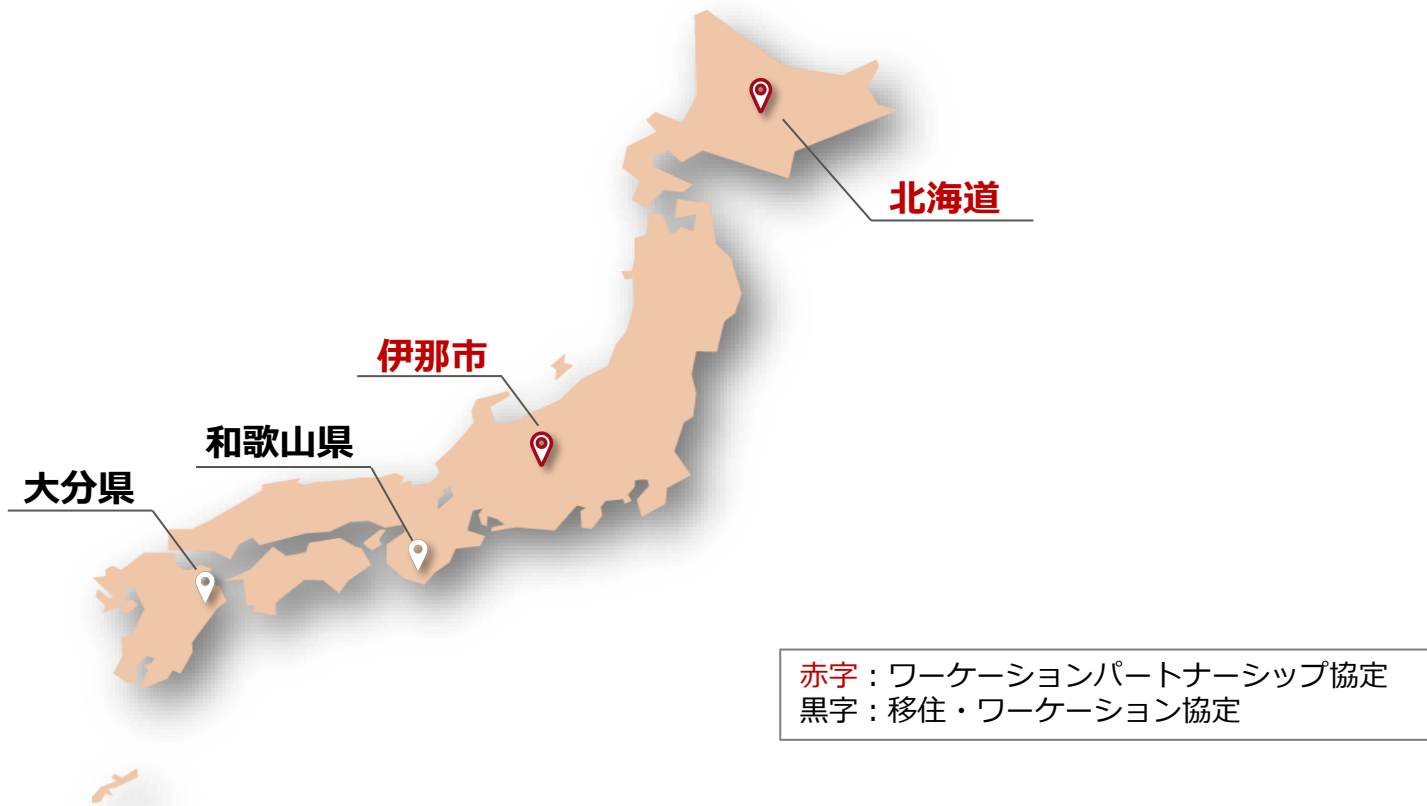
富士通側の活動

- ・各自治体の取り組み紹介
- ・モニターツアーの開催(予定)
- ・ワーケーションの情報提供(他自治体での事例等)
- ・ワーケーション推進支援(施設構築及びICT関連)

自治体側の活動

- ・情報提供(観光情報、ワーケーション施設等)
- ・モニターツアーへの協力
- ・FJグループ優待特典等(要相談)

協定締結している自治体



働き方の選択肢としての社内での浸透

- ワークেশヨンの体験者から、効果や取り組みにあたっての工夫、
おすすめのスポットを情報提供・社員同士で情報交換できる社内SNS・サイトの整備

社員の自律的な活動・学びの促進

- 副業・プロボノ・ボランティア活動、チーム・部署単位やビジネス創出のための
現場主体での活動の促進

本事業における ワーケーション・トライアルの概要

2021年12月13日

富士通 Japan 株式会社

クロスインダストリービジネス本部

片岡 正彰



本事業におけるワーケーション・トライアルの概要

- ◆ トライアル地域： 新潟県糸魚川市
- ◆ 実施の種類/目的： 地域課題解決/ワーケーション交流を通じ地域と企業との新たな関係性を検討する
課題テーマ(仮)『自然の「恵み」と「脅威」を理解し、持続可能な共生の在り方を地域と共に考える』
- ◆ 実施スケジュール： 第1回（11/16～19）、第2回（12/14～17）、第3回（1月中旬予定）

地域の概要



プログラム概要

11/16～19 ワケーション・トライアルプログラム スケジュール					
	日にち	開始時間	終了時間	場所	内容
1日目	11月16日 (火)	13:00	13:30	キタレ	オリエンテーション
		14:00	16:00	フォッサマグナミュージアム・長者ヶ原考古館	施設見学・防災学習
		17:00	18:00	権現荘	グループワーク
		18:00		権現荘	宿泊施設チェックイン
2日目	11月17日 (水)	宿泊施設		榑口温泉	
		8:45	12:00	権現荘	宿泊施設での執務時間
		12:10	13:30	農家キッチンひだまり	笹寿司づくり体験・昼食
		14:30	16:00	新潟焼山登山口	防災に関するフィールドワーク
		17:00	18:00	権現荘	グループワーク
		18:00		権現荘	宿泊施設ルームイン
3日目	11月18日 (木)	宿泊施設		榑口温泉	
		8:45	12:00	権現荘	宿泊施設での執務時間
		12:00	13:00	権現荘	昼食
		13:30	15:00	糸魚川駅北エリア	ワークスペース意見交換
		15:15	17:00	糸魚川市役所	糸魚川市とのスマートシティ懇談
		18:00		権現荘	宿泊施設ルームイン
4日目	11月19日 (金)	宿泊施設		榑口温泉	
		8:45	10:00	榑口地区	雪崩災害現地見学
		10:15	12:00	権現荘	プレスト会
		13:00	13:00		糸魚川駅解散

Thank you

